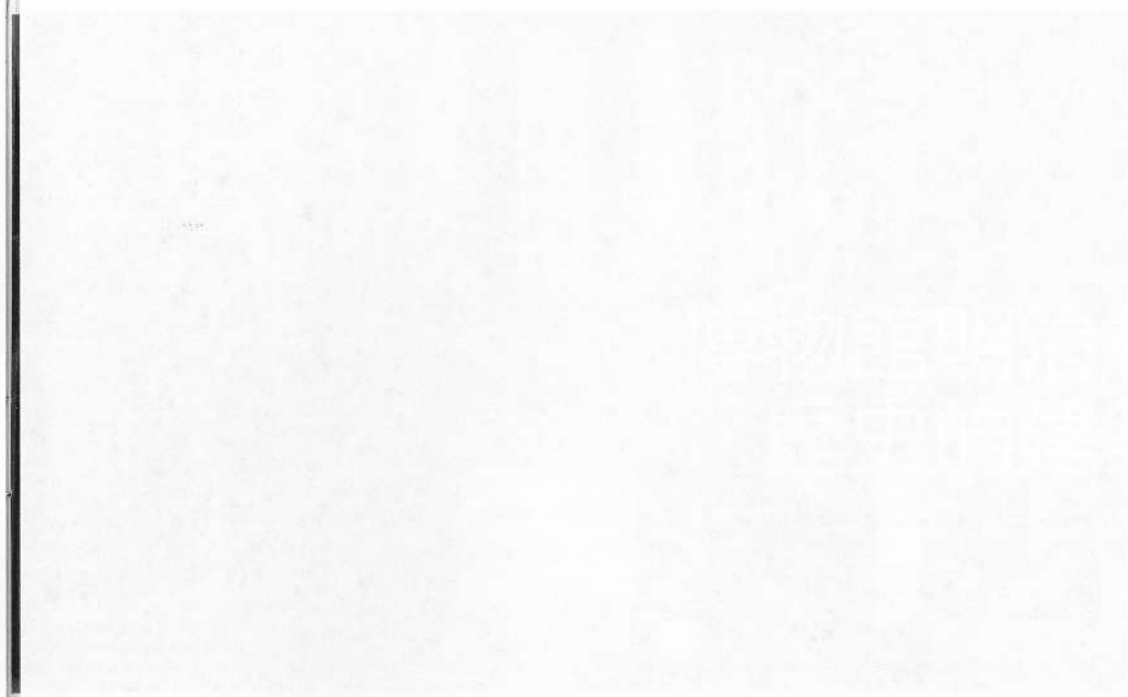




Faded text or stamp in the middle left section of the left page.



Faded text or stamp in the middle right section of the left page.



明治村のふたつの飾電燈をめぐって

私は、隣の静岡県、といっても西の端の浜松ですから、愛知県寄りの町で生まれました。高校入学後の最初の遠足が明治村でした。ここを訪れるのはそれ以来二度目で、実に四十年ぶりということになります。四十年前の開村間もないころの明治村は、ほんやりとしか覚えていないのですが、それがどのように変わったか、今日は楽しみに参りました。

私自身は建築を専門に研究してきたわけではありませぬ。このようなお話をする機会を与えられて、さて明治村の何についてお話をしようかと考えた時に、明治村は、建築以外の分野では、どのような物を集めているのだろうかということがふと気になりました。そこ



東京大学教授
木下 直之氏

静岡県出身。兵庫県立近代美術館学芸員、東京大学総合研究博物館助教授を経て2004年より現職。サントリー学芸賞・芸術選奨文部科学大臣賞。著書『美術という見世物 - 油絵茶屋の時代』・『わたしの城下町』

で明治村のガイドブックを開いて、建物以外に何があるのだろうと見ていくと、松山さんのお話の中で新大橋が出ましたけれど、橋があり、機械があり、鉄道がありますね。さらに、飾電燈が目につきました。今日はこの二重橋の飾電燈を手掛かりに、お話をしようと思えます。

二重橋の飾電燈(写真1)とは、三重県庁舎の前に設置されているものです。ガイドブックで確認すると、昭和三十八年に解体されて、昭和四十年に明治村に移築され、つまりほぼ開村と同時に移ってきたもののようなのです。皇居二重橋の飾電燈は全部で四基あったのですが、その内の一基が東京藝大の構内にも保存されてい



皇居平面図

ます。美術学部の校門を入ったすぐ左側に設置されています(写真2)。大変立派なもので、ドイツ製です。もう一つ、皇居正門石橋の飾電燈(写真3)も明治村に移築されています。これは、明治村では新大橋の近く、同

は当然、武官、あるいは将軍の像でしょう。この台座のデザインが龍の巻き付いた東洋風であり、また明治村



図1 香水瓶のデザイン



図2 騎馬像のデザイン



写真10 楠正成銅像



写真11 上野公園の西郷隆盛銅像

つぎの入選案は、記念碑というよりは銅像です。の中に建築家として活躍する横河民輔がデザインした騎馬像です(図2)。タイトルは「文武官騎馬の図」、武官が馬に乗るのは分かるのですが、文官は乗らないと思

ひよっとすると、西郷さんが行き場所を失って、東京を離れ、はるばる明治村を訪ねてくるのではないかと空想します。ただし、それはそれで奇妙だなあという感じもするのですね。やはり、銅像はその人物ゆか

てきたものにほかなりません。明治村の多種多様な建造物の中にあつて、ややもすれば見逃されがちな飾電燈を通して、明治の日本について考えてみたいと思

これは、現在の建築学会(当時は造家学会)が関わった鉄橋脇の欄干に飾る装飾の設計競技の入選案です。当時の学会誌「建築雑誌」に発表されています。結局は、いずれも実現しなかったのですが、その第一等は巨大なる銅器です(図1)。欄のあった石垣の上に設置することを想定してデザインされたものです。三等入選は銅柱です。作者は菊地鑄太郎という、建築家ではなくて彫刻家として名を残した人でした。工部美術学校彫刻科の出身です。

このような時代に、実際に登場したものが、明治村に保存されるこれら飾電燈なのです。ただし、たぶん東京オリンピックの頃だと思つていますが、それを更新し、今は二代目の飾り電燈が立っているわけです。

最初に、明治村というのは何を集めてきたのだろう、今後は何を増やしていくのだろうと考えた時に、建築以外のものをどこまで視野に入れるかが気になると申し上げました。

さて、翌明治二十二年二月十一日に行われた憲法発布式は国家の一大イベントでしたから、様々な錦絵に描かれています。宮殿建設と軌を一にして、皇居周辺の装飾を新たにするとという試みがなされました。橋が木橋から石や鉄の橋に変わったのもその一環です。さらにその橋の周辺を壮麗に装飾すべきと、記念碑や銅像のコンクールが行われました。

このような記念碑や銅像という、いかにも明治の日本を象徴するもの行く末を考えた時に、明治村にそれらがやってくる日もくるのではないかと思うのです。東京の上野公園には、あまりにも有名な西郷さんの銅像が建っています(写真11)。はたしてこうした銅像は、今後もずっと建ち続けるだろうかということが、とても気になるのです。

ちなみに西郷さんの銅像と今の楠木正成の銅像とは、随分とスタイルが違います。楠木正成は武将にふさわしい甲冑に身を固めた騎馬の姿で表現されています。実は、西郷さんも皇居前広場に立てられる可能性があります。その時は、騎馬像、しかも軍服で。西郷さんは軍人としての位を極めた陸軍大将でしたから。ところが西南戦争で朝廷に弓を引くこととなり、位階を剥奪されます。では西郷さんの復権はいつ行われたのだろうか。これには、やはり憲法発布にからんでいるのです。憲法発布を機に何人かが復権するのですが、西郷さんはそのうちの一人です。それで銅像を作ろうという話になったのです。そこで選ばれた地が皇居正門前でしたが、横槍が入って上野公園へと遠ざけられました。また服装も平服に変えられました。

置されたものです。皇居はもと徳川将軍の居城、江戸城でした。ここへ明治天皇が入り、戦前は宮城と呼ばれていたわけですが、天皇の住まいとなることによって、環境が大きく変わりました。最初の大きな転機が、明治二十一年の秋の明治宮殿の竣工です(写真5)。翌年二月十一日に大日本帝国憲法が公布されました(写真5)。明治の日本を考える時、とても重要な年が、この憲法発布された明治二十二年といつてもよいかと思つています。これに合わせて、皇居が装いを新たにし、憲法を手に入れた新しい国家にふさわしい姿がデザインされていたわけ



写真6 幕末に撮影された江戸城の木橋

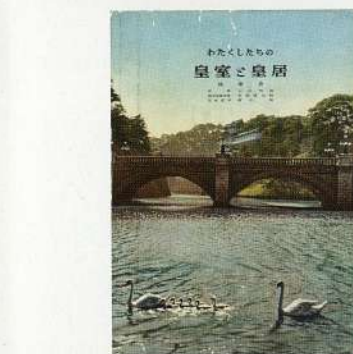


写真7 二重橋が表紙になった冊子



写真8 皇居正門石橋から奥の鉄橋を見る



写真9 鉄橋から見た石橋と皇居前広場

じく皇居内にあつた内閣文庫のすぐ傍りに設置されています。ライオンのデザインが印象的です。どちらも明治二十一年に設



写真4 皇居造営図



写真5 憲法発布式の橋だけを指す名称でした。現在のふたつの橋が架けられる前

というのはどうだったのでしょうか。幕末に日本にやってきた

逆には、鉄橋の上から振り返って、最初に渡った石橋を写真に撮ってみました(写真9)。その向こうに皇居前広場、さらに先には丸の内ビル群が見えます。この視点は、実は、戦前から皇居前広場がさまざまな行事に使われた際に、天皇・皇后がそこに集まった国民を眺めるという場所でもありました。



写真3 東京藝術大学にある飾電燈



写真2 皇居正門石橋飾電燈



写真1 皇居二重橋飾電燈

「わたくしたちの」という表現は使われな

真師が撮った写真(写真8)をみると、どちらも木の橋が架かっています。奥の橋はずいぶん高いところ

これらの入賞作品は9月12日(日)～11月3日(祝)、東山梨郡役所2階で展示いたします。是非ご覧ください。

特選

「明治修復」
永宮正義
愛知県春日井市



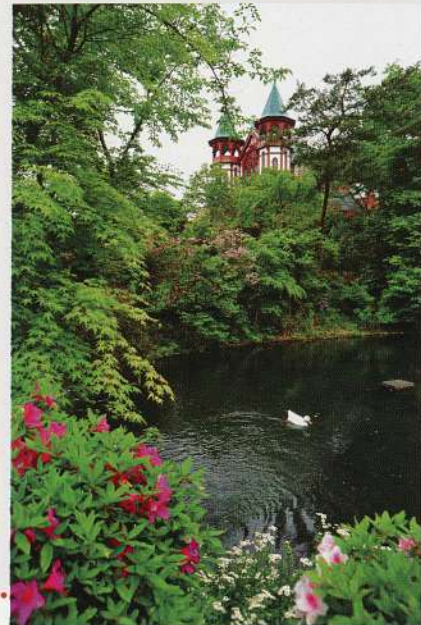
「雪中轟進」
山吉裕次郎
愛知県名古屋市



「前橋監獄雑居房にて」
渡辺昌昭
岐阜県羽島市



「初夏の頃」
宮嶋 靖
愛知県豊田市



協賛会社賞



「或る刻」
生駒君男
愛知県江南市



「緑側の猫」
萩尾正人
愛知県春日井市



「ライトアップに感動」
加茂睦博
愛知県名古屋市



「祝日はためき」
大花征也
愛知県津島市



「お正月」
加藤晶三
愛知県小牧市



「秋光」
鈴木徹哉
愛知県愛知郡



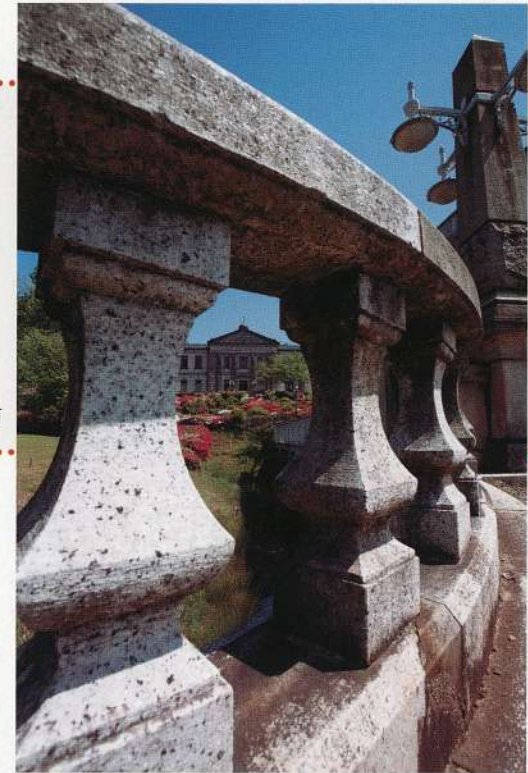
「聖ヨハネ教会堂」
石原雅延
愛知県江南市

明治村写真コンテスト「明治村百景」募集要項

- ・テーマ：明治村を表す作品
明治村の四季折々の美しさや賑わい、
明治村を楽しむ人々の心温まる風景やイベントの様子
- ・応募期間：平成22年7月1日(木)～平成23年6月30日(木)
- ・規定：所定の事項を記載した応募票を添付。
一人何点でも応募可(ただし、ひとり一賞)。
カラープリント 四ツ切・ワイド四ツ切(デジタルの場合はA4サイズも可)。単写真のみ。
デジタルの場合は色彩や明度の調整程度の処理は可。
- ・締め切り：平成23年6月30日(木) (当日消印有効)
- ・表彰式/写真展：平成23年秋を予定
- ・賞：明治村大賞…1点(賞金10万円)
推薦…3点(賞金3万円)
特選…4点(賞金2万円)
協賛会社賞…9点(富士フィルム株式会社、
ハクバ写真産業株式会社、
株式会社学研パブリッシングを予定)
- 入選…15点
- ・主催：博物館 明治村
- ・応募先：〒484-0000 愛知県犬山市内山一番地
博物館明治村写真コンテスト係

大賞

「内閣文庫の眺め」
大矢信吾
愛知県江南市

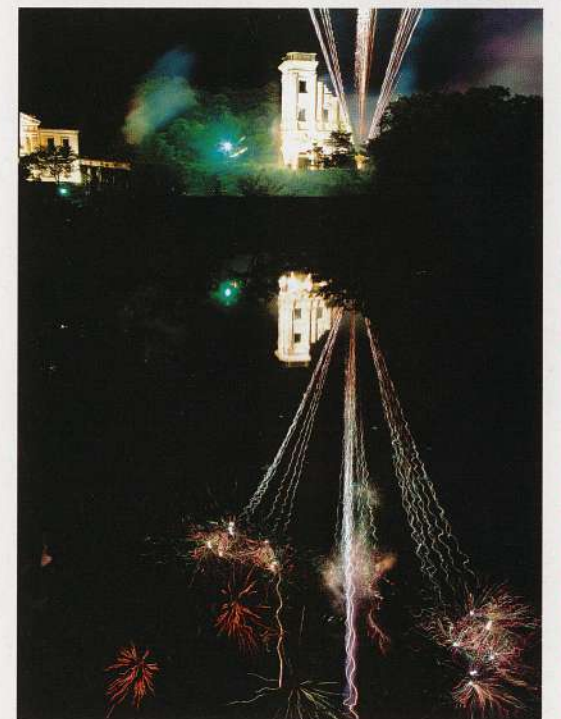


明治村写真コンテスト
紙上展覧会

推薦



「噴水のしぶき」
小栗 守
岐阜県関市



「水辺に映えて」
鈴木安子
愛知県豊橋市

「おわら踊り」
平野成明
愛知県刈谷市

明治 秋色紀行

特別企画「明治の鉄道」 9月18日(土)～10月17日(日)

御料車特別公開 (5号御料車・6号御料車)

明治村には、昭憲皇太后御料車(5号御料車)と明治天皇御料車(6号御料車)を保存展示していますが、今回は6号御料車の建造100年と、明治村の開村45年を記念し、普段は非公開の車内を特別に公開します。日本の伝統工芸の粋を集めた華やかな内装をご覧ください。

- 会場：鉄道局新橋工場
- 時間：10:00～12:00
13:00～15:00

特別展「鉄道と郵便」

郵便だけでなく、鉄道にも功績を残した前島密の功績を振り返り、深い関わりを持っていた郵便と鉄道について紹介します。

- 会場：宇治山田郵便局舎、三重県庁舎
- 協力：日本郵政株式会社郵政資料館

明治4(1871)年の郵便制度が創設され、翌明治5(1872)年に日本で初めて鉄道が開通した当初より鉄道による郵便輸送も開始されました。この展示では、新橋-横浜間に日本初の鉄道が開業した鉄道記念日(10月14日)に併せて、昨年創建100年を迎えた宇治山田郵便局舎と三重県庁舎を展示会場として、創業当初から密接な関係を有していた郵便事業と鉄道とを関連付け、明治期に飛躍的に進展した日本の交通・通信史の一端を紹介します。

明治の鉄道ゆかりのグルメフェア

企画にあわせて当時の食堂車のメニューや駅弁を再現しました。 ■ 場所：明治村食堂2階

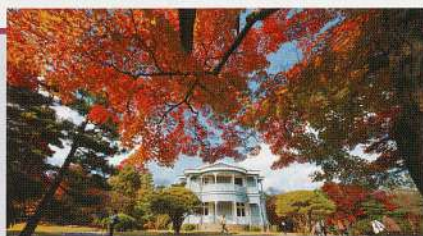
- 食堂車のメニュー
ビーフステーキ、カツレツチキン
ビーフカツレツ
- 駅弁の再現
姫路驛幕の内弁当、名古屋折詰御弁当、鎌倉ハムのサンドウイッチ

◆ きもので楽しむ明治村 ◆

11月13日(土)～28日(日)
上記期間と10/16・30、11/6はきものでご来村の方、入村料半額(※他の割引との併用不可)

- きもの試着体験 (荒天中止)
- 会場：安田銀行会津支店
- 日時：11月13日(土)・14日(日)
20日(土)・21日(日)・23日(祝)
- 時間：10:00～14:30
- 料金：500円(女性限定 2時間)
- 協力：財団法人民族衣装文化普及協会

- きものファッションショー
「明治を生きた女性達」
- 開催日時：11月18日(木) 13:30～
21日(日) 11:30～、13:30～
- 会場：呉服座
- 協力：財団法人民族衣装文化普及協会



撮影 水野廣之

- 紅葉音楽会
コンサート
明治村の紅葉を琴とフルートのアンサンブルとともに楽しみください。
- 出演：デュオSAKURA
- 開催日時：11月20日(土)～23日(祝)
11:00～、13:00～、14:00～
各回約20分
- 会場：学習院長官舎

- 紅葉茶会
日本庭園に野点席を設け、気軽に楽しめる茶会です。
- 日時：11月20日(土)～23日(祝)
10:00～14:30
- 料金：一服600円(菓子付き)
- 会場：日本庭園(雨天時はお休み処碧水)
- 協力：犬山市文化協会茶華道部

明治村 トリエンナーレ 2010 Autumn Stage

9月18日(土)～11月28日(日)
第3回 明治村 トリエンナーレ 芸能・芸術祭のAutumn Stageです。週末を中心に30以上の団体が、芸能・芸術を発表します。

平成22年9月18日(土)～11月28日(日)

北里研究所本館・医学館移築30周年記念 並びに保存修理工事竣工記念「北里柴三郎記念展」

本年は大正4(1915)年に北里柴三郎が創設した北里研究所本館が、博物館明治村へ移築されてちょうど30年にあたります。日本の近代医学と衛生行政の発展に多大な貢献を果たし、日本の近代医学の祖ともいえる北里柴三郎博士の生涯と業績を紹介します。

- 開催日：10月16日(土)～31日(日) (10/16は12:30開場)
- 会場：北里研究所本館・医学館
- 主催：学校法人北里研究所
- 後援：愛知県教育委員会、岐阜県教育委員会、北里大学同窓会、北里大学PPA、北里柴三郎記念会
- 協力：博物館明治村

● 記念講演会 ●

- 日時：平成22年10月16日(土) 14:00～15:30
- 会場：三重県庁舎2階彩の間
- 内容：大村 智(学校法人北里研究所名誉理事長)
「横井小楠と北里柴三郎の実学の系譜」
北里 一郎(学校法人北里研究所名誉顧問・明治製菓元代表取締役会長)
「祖父 北里柴三郎」



北里柴三郎博士
愛用の顕微鏡

コッホ釜、
心卵器

スペシャルドラマ 明治村ロケ展

11月13日(土)～2月27日(日)

昨年か来年にかけて放送予定のスペシャルドラマ「坂の上の雲」。明治村でも撮影が行なわれましたが、その様子やストーリーを紹介します。会場は、ドラマの中で「東京大学予備門」として登場した「三重県庁舎」です。

- 会場：三重県庁舎

「坂の上の雲」のまち松山フェア 「秋山真之と正岡子規展」

11月13日(土)～2月27日(日)

主人公、秋山真之と正岡子規に迫る特別展。

- 会場：三重県庁舎
- 協力：松山市・坂の上の雲ミュージアム・松山市立子規記念館
「坂の上の雲」のまち松山スペシャルドラマ館

秋の文化イベント

灯台記念日・品川燈台竣工140周年記念

重要文化財 品川燈台 特別公開!

- 公開日：10月23日(土)、24日(日)、
30日(土)、31日(日)
- 協力：第四管区海上保安本部(社)燈光会

品川燈台竣工140周年記念 特別講演会【事前申込定員制・聴講無料】

- 日時：10月23日(土)
13:30～15:15
- 講師：藤岡洋保
(東京工業大学大学院教授)
- 主催：第四管区海上保安本部
- 申込方法：10/13(水)までにFAXまたはEメールで、タイトルに「灯台特別講演会参加希望」記載の上、参加者氏名・住所・電話番号・年齢を、明記の上、下記までお申込下さい。追って参加券が主催事務局から送られます。
- 申込先
第四管区海上保安本部交通部企画課
FAX 052-652-1329
E-mail kouhou4@kaiho.milt.go.jp



小沢村長講演会

- 開催日：9月20日(祝)
- 時間：14:00～15:00
- 演題：「小沢昭一 明治演歌のこころ」
- 場所：聖ザビエル天主堂

明治村開村45周年記念
☆敬老の日特別謝恩企画☆
9月18日(土)～23日(祝)の6日間は、65才以上の方、入村無料。(要証明)

秋祭りイベント

民族舞踊団「音舞」明治村公演

- 日時：9月19日(日) 13:00～、14:30～
- 会場：呉服座

越中八尾のおわら踊り公演

- 今年12年目を迎える越中八尾のおわら踊り公演。今年も、薄暮公演を開催します。
- 出演：富山県民謡越中八尾おわら保存会
- 10月30日(土)
呉服座公演【有料】14:00～14:30
15:00～15:30
輪踊り(呉服座前)15:40～16:00
街流し・薄暮公演(金沢監獄正門～帝国ホテル)16:40～17:10
- 10月31日(日)
街流し(金沢監獄正門～帝国ホテル)11:30～12:00
呉服座公演【有料】13:00～13:30
輪踊り 13:40～14:00

※街流し・輪踊りは野外公演のため、天候により中止させていただきます。雨天時は会場・内容等変更いたします。
※呉服座公演は有料。呉服座公演鑑賞料：700円 呉服座公演の前売り鑑賞券は、名鉄名古屋駅サービスセンター、名鉄観光サービス各支店(9/18～10/25)、主要コンビニ(10/1～10/25)等で発売。

阿波踊り公演

- 今年5年目を迎える阿波踊り公演。
- 開催日：11月6日(土)・7日(日)
- 出演：阿波踊り 太閤連

※催事内容は予告無く変更・中止する場合がございます。詳しくはお電話でお問合せいただくか明治村公式HPをご覧ください。

お問い合わせ先

<http://www.meijimura.com/> または 0568-67-0314